

県内の農家の皆さんへ

県オリジナル水稲品種

「里山のつぶ」

中山間地向けの県水稲オリジナル品種がデビューします!

☆「里山のつぶ」の特徴

- 栽培適地は標高300m以上の中山間地です。
- 出穂期・成熟期は「あきたこまち」に比べ2日ほど遅くなります。
- 倒伏しにくく、いもち病や低温に強いので栽培しやすい品種です。
- 米粒は大きく、収量は「あきたこまち」に優ります。
- 食べたときにしっかりした歯ごたえと、適度な粘りが感じられる、「あきたこまち」並の良食味品種です。

☆品種特性一覧

品種名	里山のつぶ	あきたこまち	ひとめぼれ
出穂期(月日)	8月2日	7月31日	8月5日
成熟期(月日)	9月14日	9月12日	9月20日
稈長(cm)	81	80	82
穂長(cm)	18.0	17.4	18.8
穂数(本/m ²)	425	405	470
倒伏程度(0~5)	0	0.1	1.2
葉いもち	やや強	中	やや弱
穂いもち	強	やや弱	中
耐倒伏性	やや強	やや弱	やや弱
耐冷性(障害型)	強	中	極強
穂発芽性	やや強	難	難
精玄米重(kg/a)	62.2(112)	55.6(100)	62.3(112)
玄米千粒重(g)	23.4	21.8	22.5
玄米品質(1-9)	上中(3.8)	上中(4.3)	上中(5.0)
整粒歩合(%)	81.4	76.4	78.0
白未熟粒割合(%)	7.1	8.6	12.0
玄米蛋白質含有率(%)	6.7	7.0	6.7
白米アミロース含有率(%)	17.8	17.4	17.8
味度値	77.8	77	78.4
食味総合評価(-3~+3)	上下(-0.39)	上下(-0.60)	上中(-0.24)



- 1)センター本部(郡山市)データ
- 2)2009年~2014年の平均値(ただし、白米アミロース含有率は2009年~2011年、食味総合評価は2009年2013年)、玄米は1.8mmの篩で調製
- 3)基肥窒素0.6kg/a(2012年以降基肥窒素0.5kg/a+追肥窒素0.2kg/a)

【参考 奨励品種現地調査結果より】

		出穂期	成熟期			出穂期	成熟期
猪苗代	里山のつぶ	8月6日	9月18日	田島	里山のつぶ	8月6日	9月22日
	あきたこまち	8月5日	9月17日		あきたこまち	8月5日	9月21日

1)2011年~2014年の平均

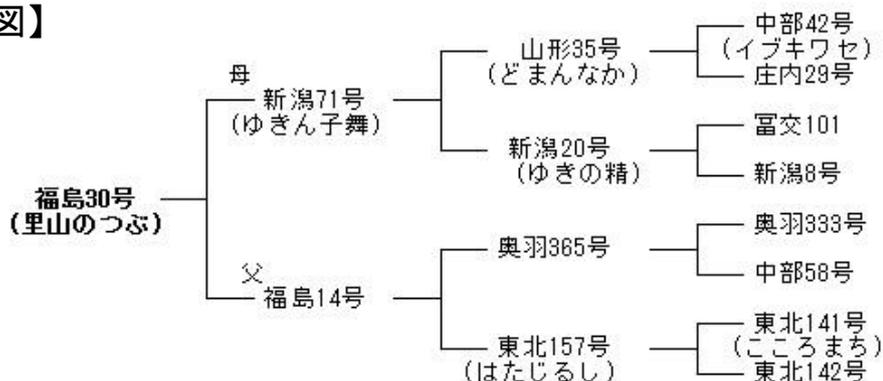
【食味官能試験結果】

品種名	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合評価
里山のつぶ	0.20	0.15	0.20	-0.25	0.60	0.15
あきたこまち	0.10	-0.10	0.10	-0.50	0.60	-0.05

※(財)日本穀物検定協会における食味評価

複数産地コシヒカリのブレンドを基準(0)とし、2013年郡山市湖南地区産米を評価、
-3(かなり不良)~0(基準)~+3(かなり良)の7段階で評価

【系譜図】



☆高品質で美味しい「里山のつぶ」を生産するため、
作付を希望される生産者には、以下の事項を必ず守っていただくこととします。

【「里山のつぶ」生産者遵守事項】

- 1 生産ほ場は標高300m以上であり、栽培適地のほ場であること。
(詳しくはお問い合わせ下さい)
- 2 作付面積は、生産者毎に原則30a以上とする。
- 3 主食用米として出荷し、飼料用米や備蓄米、加工用米として出荷しないこと。
- 4 「里山のつぶ」の種子は再譲渡、自家採種を行わないこと。
- 5 平成28年度中に県が主催する栽培技術研修会に参加するとともに、
県が示す「里山のつぶ」栽培基準を遵守して栽培すること。
- 6 生産された米は、全量出荷契約を結んだ集荷業者に出荷すること。
- 7 県が行う調査等に協力すること。

○「里山のつぶ」については、JAや集荷業者、最寄りの
県農林事務所・農業普及所へお問い合わせ下さい。

平成28年8月25日発行

福島県・JAグループ福島・福島県米穀肥料協同組合

福島県米麦協同組合・福島第一食糧卸協同組合、福島県米改良協会